

令和 6 年度 事業報告

公益財団法人前橋観光コンベンション協会

概要

令和6年度において、インバウンド需要は過去最高を記録し、観光需要が高まっている。このような状況に対応するため、観光のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、旅行者の利便性向上や観光産業の生産性向上を図るとともに、マーケティング人材の育成と活用をすすめている。

さらに、前橋市や赤城山周辺の事業者と連携し、地域の魅力を体現する観光コンテンツの創造や MICE 誘致、その受入体制の整備を進めるとともに、WEB データ解析に基づいた効果的なプロモーションを実施し、前橋ファンを増やすことで観光だけにとどまらない誘客促進を図り、持続可能な地域づくりに寄与することを目指す。

I コンベンション事業

前橋市への経済効果を目的にコンベンション・スポーツ大会等主催者となる大学や企業、コンベンション・スポーツ大会等関係団体等から収集した情報を活用して商談会や説明会、トレードショー等において誘致活動を行った。また、コンベンションの主催者に対して前橋ならではの財政的援助等の支援を行うことで、コンベンション・スポーツ大会等誘致の推進を図った。

（1）誘致支援事業

大規模コンベンションのみならず中小規模のコンベンション、サテライト会議やスポーツ大会などを誘致するため、下記事業を実施した。

①「7 都市情報交換会」事業（令和6年度は前橋が幹事都市として推進）

全国各ブロック内の同規模7都市（前橋・旭川・秋田・岐阜・姫路・松山・鹿児島）で連携し、他都市で開催したコンベンションの誘致情報交換による誘致推進

- ・7都市情報交換会 年6回開催（内2回はZoomによるオンライン開催）

3月13日・14日の全体会議は前橋で開催し、市内視察を行うことで他都市へのPRを行った。

- ・「第29回7都市情報懇談会」（1月21日 会場 東京會館）

招待者24団体31名

②「トレードショー（展示会・見本市）」等出展事業

- ・「Sportec2024」（7月16日～18日・3日間出展）実績：11件商談

- ・「第34回国際MICEエキスポ・IME2025」へ群馬県コンベンション・ビューローと共同出展した。（2月13日）

実績：10件商談 セラー参加件数：87件 バイヤー参加者数：438名

③「キーパーソン（開催地決定権者）視察受入」事業

- ・各種学会等のキーパーソンを下見等で市内のコンベンション会場や観光施設等の視察受入れを実施

④「誘致訪問」事業

- ・県内の大学関係者に対するアンケート調査（年2回）による大学個別訪問や

様々な情報収集により入手した開催予定主催団体への個別訪問を実施

- ・首都圏誘致活動として主催団体・学会等の事務局、本部への営業については、直接訪問と併せて電話、電子メールでの誘致活動を実施

⑤「コンベンション誘致促進及びスポーツ大会等開催助成」事業

令和6年度誘致促進助成金制度として35件(交付額4,990千円)の助成を予定したが、交付対象外(対象人数減)による2件の申請取下げにより計33件(交付額4,276千円)になった。

- ・コンベンション誘致促進助成金 7件 交付額 926千円
- ・スポーツ大会等開催助成金(共催負担金含む) 26件 交付額 3,350千円

⑥「開催サポート」事業

コンベンション開催期間中に県外から来訪されるお客様に前橋の観光パンフレットやコンGRESバッグ、オリジナルクリアファイル、「前橋の天然水アカギノメグミ」を主催者へ提供し前橋をPRした。

- ・コンベンション 27件／5,431名
 - ・スポーツ大会等 34件／25,232名(ニューイヤー駅伝支援分含む)
- 合計 61件／30,663名

【経済波及効果】

415,058千円(61件・助成金利用以外37件分含む)

*MICE開催による地域経済波及効果測定モデル参考資料により算出

⑦「歓迎」事業

前橋市内で開催される当協会が支援するコンベンションやスポーツ大会等について、JR前橋駅構内、北口周辺へ歓迎横断幕や歓迎フラッグの設置、デジタルサイネージに歓迎メッセージの表示を行った。

合計 73件(前年度57件)

※ユニークベニユーを活用した事業

臨江閣をユニークベニユー会場とした国際会議開催のためサポートを行った。

※ニューイヤー駅伝支援

全国放送による宣伝効果とTBSクルーや参加選手・企業関係者へのPRとして群馬県庁前へ「歓迎看板」の掲示、郷土芸能(八木節、華龍太鼓)の披露、参加チーム・役員へ「前橋の天然水アカギノメグミ」の贈呈。

(2) 広報宣伝事業

コンベンション・スポーツ大会等の環境及びアフターコンベンションとしての前橋観光を周知するため、ホームページの充実を始め(スポーツカレンダーの作成等)協会報や前橋市コンベンションガイドの配布等により、地元主催者、市民及び賛助会員に対しコンベンション活動を理解していただくため、協会の各種事業のPR活動を行った。

(3) 企画調査事業

前橋市におけるコンベンションやスポーツ大会等の開催スケジュールの調査・

関連事業者への周知及びJCCB、JSTA等と連携を下記のとおり推進した。

- ① コンベンション・スポーツ大会等の情報を市内のコンベンション施設に開催予定を調査し、協会が把握しきれていない情報を含めスケジュール表にしてまとめ、コンベンション情報を提供した。
- ② JCCB総会、部会等やJSTAセミナー等への参加
日本コンGRESコンベンションビューロー（JCCB）総会及びビューロー部会に参加し、コンベンションに関する情報収集及び意見交換を行った。
 - ・ JCCBコンベンション・ビューロー総会（6月24日 品川区）
 - ・ JCCBコンベンション・ビューロー部会（7月17日・18日 福山市）
 - ・ JCCBコンベンション・ビューロー部会（12月5日・6日 水戸市）

（4）人材育成啓発事業

前橋市内開催のコンベンション、スポーツ大会等事業を支える関連業界と情報交換等を行い、育成・啓発を図り受け入れ環境整備を下記のとおり実施した。

- ① 受入業界情報交換
 - ・ 来橋者に直接的に接遇する前橋旅館ホテル協同組合との意見交換会を実施（9月11日、1月29日、3月5日）
- ② 職員参加研修
 - ・ JCCB人材育成研修に若手職員参加（1月16日）
- ③ コンベンション、スポーツ大会受け入れ関連業界との事業共催の実施
 - ・ 前橋旅館ホテル協同組合研修会として下記事業を共催
4月から放送の「前橋ウィッチーズ」に合わせアニメ先進地を研修
「アニメの聖地巡礼による地域活性化視察研修」
2月10日・11日に沼津リバーサイドホテル他沼津市内施設を視察

II 広報宣伝事業

前橋市及びその周辺地域の観光資源の宣伝と観光客誘客促進のために観光PR活動やフィルムコミッション事業を下記のとおり実施した。

1 観光資源の造成

（1）フィルム・コミッション事業

映像文化の振興を始め、観光振興、撮影現場となった地域の新たな価値の発見、撮影隊が現地に留まることに伴う経済効果など、多方面で地域の活性に寄与した。

- ① 映画、テレビ番組、コマーシャルフィルム等の撮影支援及び撮影の誘致制作者からの依頼により、撮影候補地紹介やエキストラ等出演依頼の対応、撮影下見、撮影立会い、許可申請調整等を行った。

- ・受付件数 51件（前年度40件）
- ・撮影実績 12件（前年度23件）
- ・経済効果 14,162,920円（前年度14,611,750円）（直接消費分）

ジャンル	市内撮影件数
映画	6件
連続テレビドラマ等	2件
コマーシャル	0件
その他	4件
合計	12件

- ・市民サポーター（撮影ボランティア）
エキストラ登録者数：1,216名（前年度1,179名）

② 映像文化啓発、情報発信事業

- ・ホームページ、SNS、各種冊子、ポスターなどで作品を通してフィルムコミッション事業について周知を図った。
- ・月報「ぐんま経済」（群馬経済研究所の機関誌）に県内FCの紹介として掲載された。
- ・TVアニメ「前橋ウィッチーズ」の放送前宣伝の協力や、イベントや垂れ幕・パネル等の掲出をすることで誘客を図るとともに地域経済の活性化を行った。
- ・まえばし出前講座の依頼によりフィルムコミッションの活動や撮影実績等について講演した。（6月23日 昭和町自治会）
- ・県内高校（高崎北高校、前橋高校）の探究活動に出席し、県内FCに対して取材対応に応じた。
- ・前橋工科大生の研究発表にオブザーバーとして出席した。
- ・JFC（ジャパンフィルムコミッション）の地域ブロック研修が県内で行われ、ロケ地（臨江閣）見学への協力を行った。

（2）新たな観光資源開発のための旅行事業

① 体験観光商品づくりの支援等

- ・通常は入れない、レンゲツツジの名所である白樺牧場内を散策する特別ツアーを赤城山頂の事業者と共同実施することで誘客を図り、地域の歴史を伝えるとともに牧場内の自然保護啓発を行い、ツアー実施を通してレンゲツツジ保護に寄与した。

参加者 初夏（ツツジ） 259名 直接経済効果 1,248,500円

秋（紅葉） 39名 直接経済効果 156,000円

- ・白井屋ホテル及び地域の事業者と連携した体験プランを実施した。

参加者 31名 直接経済効果 93,000円

- ・自然保護団体が実施する赤城山エコツアーの広報協力を行った。

② 赤城山冬アクティビティの資源調査

- ・冬季の赤城山に関して、ホームページ等からのアクセス件数の増加により新たなアクティビティの開発や調査をするため、山岳ガイドや行政関係者（群馬県・前橋市）と積雪時の現地検証を行った。

（３）サイクルプロジェクトの推進

① 赤城山周辺エリア連携の推進

群馬県が推進するナショナルサイクルルートのプロジェクトへの協力を行った。

② サイクリストを面的に受け入れるための環境整備の推進

サイクリング中の休息や簡易な自転車修理ができる拠点（サイクルオアシス）を整備し、サイクリスト受入の面的整備を進めた。（３月末現在１０６か所）

③ 新たな観光価値の創造とプロモーション

e-Bike のレンタルと併せ、道の駅に新設したアクティビティステーションにおける情報発信や、地域の周遊をうながす「道の駅まえばし赤城」を起点とした周辺のサイクリングルートづくりを行った。

レンタサイクル実績 ３３０台（前年度 341 台）

２ 観光ＰＲ事業

（１）観光展・キャンペーンの実施・参加

① 観光キャンペーン、前橋市及び赤城山周辺エリアのプロモーション事業

- ・ホームページ等のインターネット媒体を活用したプロモーションの実施
- ・ころとんを活用したプロモーション

西武ドーム戦における前橋 PR（６月２日、８月２０日）

水曜どうでしょうキャラバン in 前橋における前橋 PR（９月１８日）

ご当地キャラカーニバルにおける前橋 PR（９月２８日）

育英優勝パレードにおける前橋 PR および物販ブース出展（２月１１日）

道の駅まえばし赤城２周年イベントにおける前橋 PR（３月２９日・３０日）

前橋ウィッチーズ PR イベントへの出演

（９月２９日、１２月１日、１月２６日）

- ・スマートフォンを活用し、スタンプラリーやアンケートデータのリアルタイム集計を行うためのシステム（マーケティングプラットフォーム「Taview（タビュー）」）の導入

② 宣伝用ノベルティの作成・配布

- ・ころとんグッズの作成（手ぬぐい２種、缶ミラー）
- ・赤城南面スタンプラリーアンケート協力者へのノベルティ作成

（２）マスコミ説明会・観光キャラバンの実施

首都圏等のマスコミ・旅行会社等への情報発信及び取材受入等

- ・各種マスコミからの取材対応
昭文社マップル、JTB パブリッシング、交通新聞社「散歩の達人」等

(3) 観光資源の広報宣伝

前橋市及び赤城山周辺エリアの宣伝・イメージアップや魅力発信のために各種媒体を通して積極的な宣伝活動・情報発信を行った。

① 着地型観光パンフレット等の作成・設置

観光案内所（前橋駅・道の駅）や前橋市内のホテル・旅館などで観光案内に活用する着地型観光パンフレット等の作成及び設置。観光客の増加に対応するため作成部数を増やした。

・前橋旅本（観光パンフレット）	30,000 部
・前橋全域マップ（まえばし観光マップ）	40,000 部
・まちなか案内マップ（前橋まちなか&新前橋駅周辺マップ）	20,000 部
・赤城山登山ルート案内マップ（百名山赤城山マップ）	40,000 部
・押しカツ No.1 リーフレット	7,000 部

② テレビ、新聞、雑誌、ラジオ等への情報提供、タイアップ及び広告の掲出

- ・まえばしCITYエフエムによる観光情報発信（毎月第四木曜日に出演）
- ・散歩の達人「前橋・高崎」特集（約7万部）
- ・フリーペーパー道の駅関東版（約10万部）
- ・毎日新聞「第69回全日本実業団駅伝（ニューイヤー駅伝）」特集（約22万部）
- ・旬刊旅行新聞 北関東特集（群馬・栃木・茨城）（約3万2千部）
- ・読売新聞（別刷）群馬県民の日特集（群馬県版 約183千部）ほか

③ WEBを活用した広報宣伝及びプロモーション事業

- ・観光公式ページ「前橋まるごとガイド」を活用し、前橋市の観光情報や魅力の発信を行い、交流人口と消費額の増加を推進（年間ページビュー数 3,578,174 件 前年比 108.0%）
- ・赤城山ポータルサイト「AkagiTrip」を活用し、赤城山周辺エリアの魅力発信を行い、交流人口と消費額の増加を推進（年間ページビュー数 1,431,969 件 前年比 202.7%）
- ・SNS (Facebook、X、Instagram)による情報発信及びプロモーション
- ・検索サイト用及びSNS用に誘客促進のための広告を掲出
- ・観光、コンベンション振興を目的とした広報活動用の写真貸出サイト（フォトライブラリー）の充実
- ・ホームページアクセスデータによる観光需要者の傾向分析

④ 前橋駅イーサイト内デジタルサイネージ、前橋駅電光掲示板、ライブカメラを活用した観光情報発信

⑤ プロモーション用の写真や動画の撮影

(4) 旅行業者等への情報提供、問い合わせや商談会への参加

- ① 花火大会や市内観光施設のバスツアーの誘致活動（3月18日 3社）

- ② 雑誌社や旅行エージェントへの観光情報や写真素材の提供(随時)

3 観光団体・施設等との連携推進

(1) 他団体と連携した広域観光の推進

① 両毛線沿線のほほん連絡協議会事業

- ・両毛線沿線6市、JR東日本高崎支社、群馬県と連携し、両毛線沿線地域のプロモーションとしてWEB上に特設サイト開設、スタンプラリー等の実施
- ・本事業にかかる連携イベントとして、アートディステーションの拠点である「白井屋ホテル」及び事業者と連携した体験イベントを実施した。
- ・両毛線沿線のほほん連絡協議会（JR川越駅キャラバン10月6日）

② ググっとぐんま観光宣伝推進協議会事業

- ・同協議会と連携し、継続的に素材の磨き上げや観光宣伝、プロモーションを実施

③ 前橋市内宿泊施設と連携したPR事業

- ・前橋に泊まって当てようキャンペーンの実施（7月1日～2月28日実施）
応募件数7,795件（県外89.2%）
アンケートデータの回収率を上げるにより宿泊客のマーケティング戦略に活かし、市が進めるデータドリブンの活用を目指した。

【前年との変更点】

実施期間を年2回(6月～8月・12月～2月)から年1回(7月1日～2月28日)に変更し、東横イン前橋駅前ホテルの参加や協力施設の全客室にポップを配置した結果、前年対比468%のアンケート回収増加となった。

④ インバウンド啓発事業

- ・多言語ユニバーサル情報発信ツールの活用（パンフレットのデータ化）
- ・窓口での外国語対話アプリの活用
- ・台南市旅行商業公会訪問団との交流会に参加（2月8日）

4 観光案内所等の運営

(1) 観光案内所の運営

周辺の観光ゲートウェイとして、タイムリーな観光情報を提供することにより、観光客の利便性を向上させた。また、JNT0認定観光案内所として資質を維持するとともに、来訪客の問合せ数やその内容についてデータ収集を行った。

① 「前橋駅観光案内所（前橋駅構内）」の運営 JNT0 カテゴリー1

来所人数 4,248名（前年度4,695名）

② 道の駅まえばし赤城観光案内所の運営（受託事業） JNT0 カテゴリー2

前橋市を中心とした広域観光情報を提供。

来所人数 130,591名（前年度200,065名）

(2) 県立赤城公園ビジターセンターの管理、運営（受託事業）

県立赤城公園ビジターセンターでの案内や現地でしかわからないリアルタイムな情報の発信

来所人数 76,637名（前年度 63,484名）

III 観光振興事業

観光客誘致を目的としたイベント等の主催団体に対する財政的支援や、観光振興のための支援、環境整備等の事業を下記のとおり実施した。

1 イベントの開催

(1) まつり行事、イベント等の実施及び助成

集客力が高く、観光客の誘致や都市イメージアップ等に貢献できるイベント等の運営、開催経費の一部負担などを行った。

① 主催事業（2件）

- ・前橋観光百景写真コンテスト 応募 97名 出品点数 380点
（前年度 応募 103名 407点）
- ・観光まちづくりシンポジウム「meet&talk 面白い事例を学び、前橋の未来を考えよう」を開催（3月11日 申込者 48名）

② 共催及び後援行事

赤城南面千本桜まつり（3月30日～4月14日）
ローズクィーンコンテスト（最終審査6月2日）
七夕まつり（7月5日～7日）
前橋花火大会（8月10日）
前橋まつり（10月12日・13日）
初市まつり（1月9日）
上州空っ風風揚げ大会 in 前橋（2月9日） ほか 計 25事業

2 イベントへの支援等

(1) 補助金等の交付

市内で開催される各種まつり・イベント等、前橋の観光振興に寄与する事業へ補助金等の交付を行った。

① 補助金

前橋八木節協会
前橋華龍太鼓振興会
西の市まつり
ばら園まつり
大胡祇園まつり

② 協賛金

朔太郎音楽祭 2024

前橋ふびす講

(2) 観光振興のための二次交通支援、環境整備

まつり・イベント等の来訪者や観光客の利便性を高めるため、二次交通支援としてバスの運行補助や観光資源の環境整備を行った。

① 二次交通支援

会場までのバスを安価で臨時運行するなど、来訪客の利便性を高めることで集客を図ることを目的として、赤城南面千本桜の開花時期にあわせて、バスを運行した。

・ JR 前橋駅発

4月6日・7日（2日間） 乗車人数：86名

・ 上毛電気鉄道あかぎ駅発

4月6日・7日（2日間） 乗車人数：13名

② 環境整備

・ 白樺牧場レンゲツツジ保護ボランティア支援業務

・ ザゼンソウ案内看板の撤去（ザゼンソウの終了および看板の老朽化）

・ 旧料金所電光掲示板の撤去（修理不能な設備劣化による撤去）

・ 詩碑案内看板の修繕（平井晩村、山村暮鳥）

(3) イベントプロデュースおよび人的支援

民間事業者が行う観光誘客に寄与するイベント等に対し、各種アドバイスや運営協力等の人員支援を行った。

・ 赤城山らんたん祭り

・ AKAGI WHITE WEEK など

IV 法人の管理運営

(1) 会議の開催

定款に基づき、理事会、評議員会等を次のとおり開催し、重要事項を審議・決定した。

① 理事会

・ 第1回 期 日 4月12日

場 所 書面による表決

議 題 (1) 顧問の委嘱について

(2) 観光専門委員の委嘱について

(3) 書面決議による臨時評議員会の開催について

- ・第2回

期 日	5月23日
場 所	前橋市中央公民館 501 学習室
議 題	(1) 理事長及び専務理事の職務執行状況の報告 (2) 令和5年度事業報告について (3) 令和5年度決算報告書(案)について (4) 令和6年度定時評議員会の開催について (5) 観光専門委員の委嘱について (6) 理事の利益相反取引の報告について
- ・第3回

期 日	6月14日
場 所	書面による表決
議 題	(1) 代表理事(理事長)の選定について (2) 専務理事の選定について
- ・第4回

期 日	6月27日
場 所	書面による表決
議 題	(1) 書面決議による臨時評議員会の開催について
- ・第5回

期 日	1月10日
場 所	書面による表決
議 題	(1) 観光専門委員の委嘱について (2) 書面決議による臨時評議員会の開催について
- ・第6回

期 日	2月27日
場 所	書面による表決
議 題	(1) 令和6年度収支予算の補正(案)について (2) 令和7年度事業計画(案)について (3) 令和7年度収支予算書(案)について (4) 赤城大鳥居の修繕積立金の限度額の改定について (5) 令和6年度臨時評議員会の開催について (6) 観光専門委員の委嘱について (7) 理事の利益相反取引について (8) 理事の利益相反取引の承認について

② 評議員会

- ・臨時

期 日	4月25日
場 所	書面による表決
議 題	(1) 評議員の辞任に伴う補欠選任について (2) 理事の辞任に伴う補欠選任について (3) 監事の辞任に伴う補欠選任について
- ・定時

期 日	6月14日
場 所	書面による表決
議 題	(1) 令和5年度事業報告について

- | | | |
|-----|-----|-----------------------|
| | | (2) 令和5年度決算報告書について |
| | | (3) 理事の改選について |
| ・臨時 | 期 日 | 7月10日 |
| | 場 所 | 書面による表決 |
| | 議 題 | (1) 評議員の辞任に伴う補欠選任について |
| | | (2) 理事の辞任に伴う補欠選任について |
| ・臨時 | 期 日 | 1月20日 |
| | 場 所 | 書面による表決 |
| | 議 題 | (1) 評議員の辞任に伴う補欠選任について |
| ・臨時 | 期 日 | 3月12日 |
| | 場 所 | 前橋市中央公民館 501・502 学習室 |
| | 議 題 | (1) 令和6年度収支予算の補正について |
| | | (2) 令和7年度事業計画について |
| | | (3) 令和7年度収支予算書について |

③ 観光専門委員会

- | | | |
|--|-----|-------------------|
| | 期 日 | 2月7日 |
| | 場 所 | 前橋市中央公民館 506 学習室 |
| | 議 題 | (1) DMO法人登録について |
| | | (2) 令和7年度事業計画について |

(2) 賛助会員加入促進

本協会の事業に賛同し、運営に必要な経費に充てる賛助会費（寄付）を支援していただける会員の募集に務めた。

（令和6年度会員数307会員、賛助会費額6,930千円）

(3) その他財団運営に必要なこと

- ① 経理業務
- ② 庶務業務
- ③ 事務所維持管理
- ④ インターネットを活用した広報及び情報提供
- ⑤ 職員研修の実施
- ⑥ その他